

令和8年度

「運営に関する計画」



作成全体会

大阪市立関目小学校

大阪府立関目小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

I 学校運営の中期目標

現状と課題

- 児童は、学校のきまりや健康や安全を守る取り組みを実行できている。(R7「学校のきまりをまもっていますか。」肯定的回答89.6%)
- 学校で認知したいじめは100%解消、暴力行為を複数回行う児童は0名、不登校児童は保護者等との連携し取り組んでおり、今後も、いじめ、暴力行為、不登校対策に、組織的に迅速かつ徹底的に取り組む、児童が毎日学校に行くことが楽しいと思うことができる環境を目指していく。
- 学力面では、小学校学力経年調査において、各学年とも全教科大阪市平均を上回っている。しかし、学力の二極化傾向の実態や自己肯定感の育成について、引き続き、取り組む必要がある。また、「自分の考えを深めたり、広げたりすること」についても、学習中に考えを述べたり考えを聞き合う時間を設定することにより、身につけてきている。(R7「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」80.2%) 今後も引き続き、考えを述べることや考えを聴き合う活動を設定し、児童同士が尊重し合うことを大切にしながら、同時に自己肯定感の育成につなげる指導・支援を行っている。
また、体力面では、体育学習だけではなく、学級でのみんな遊びなどを計画することにより、外で遊ぶ児童が増え、運動やスポーツに親しむ児童が増えてきている。「運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。」肯定的回答90%)
- ICTの活用については、すべての学年において授業における教材提示や一人一台端末を日常的に活用することに取り組み、学校や家庭における活用の仕方に工夫してきた。今後も、授業におけるデジタル教材の活用や端末を活用した児童の実態把握、自主学習における端末の活用等、活用の幅を広げるとともに、児童のICT活用能力を高める必要がある。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

- ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度よりも0.1ポイント向上させる。

【学びを支える教育環境の充実】

〈教育DX(デジタルトランスフォーメーション)ICTを活用した教育の推進〉

- ・小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。

〈教職員の働き方改革に関する目標を設定する〉

- ・教員の長時間勤務の解消を通じ、教員が児童の前で健康で生き生きと働くことができ、児童一人一人に向き合う時間を確保することができる環境の実現をめざす。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84.2%以上にする。

・小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。

・小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度よりも0.1ポイント向上させる。

【学びを支える教育環境の充実】

〈教育 DX（デジタルトランスフォーメーション）ICT を活用した教育の推進〉

・小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。

〈教職員の働き方改革の推進〉

・教員の長時間勤務の解消を通じ、教員が児童の前で健康で生き生きと働くことができ、児童一人一人に向き合う時間を確保することができる環境の実現をめざす。

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立関目小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84.2%以上にする。(R7 84%)</p> <p>・小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。(R7 82.8%)</p>	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗状況
<p>取組内容①【1-1 問題行動への対応】</p> <p>・「学校安心ルール」の活用や学校のきまりを理解し、児童が自らを律する力を身に付けられるよう、学校教育活動全体を通じて規範意識を醸成し、問題行動発生の未然防止につなげる。</p>	
<p>指標</p> <p>○学校アンケートにおける「学校生活は楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(R7 78%)</p>	
<p>取組内容②【2-1 道徳教育の推進】</p> <p>・児童が個性を伸ばし自己肯定感を高めると共に、他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値を理解し、自己のよりよい生き方につながる道徳授業等、教育活動全体を通じて取組を推進する。</p>	
<p>指標</p> <p>○学校アンケートにおける「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。(R7 81%)</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>後期への改善点</p>	

大阪市立関目小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。(R7 81.6%)</p> <p>・小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度よりも0.1ポイント向上させる。(R7 3年 4.9 4年 8.3 5年 2.3 6年 2.2)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【4-2 「主体的・対話的で深い学び」の推進】</p> <p>・児童一人一人が見通しを持って粘り強く、主体的に取り組むとともに、思考力・判断力・表現力を育成するために、「個別最適な学び」「協働的な学び」の一層の充実を図る学習を推進する。</p>	
<p>指標</p> <p>○学校アンケートにおける、低学年「自分の考えを話したり、友達の考えを聞いたりして、いろいろな考えに気づくことができていますか」中学年「自分の考えを話したり、友達の考えを聞いたりして、自分の考えと比べることができていますか」高学年「自分の考えを話したり、友達の考えを聞いたりして、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を80.5%以上にする。(R7 80.2%)</p>	
<p>取組内容②【4-4 基礎学力の定着】</p> <p>・国語科において、様々な児童に応じた指導支援を工夫することで、自ら学ぼうとする意欲を喚起し、学習の定着を図るようにする。</p>	
<p>指標</p> <p>○小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
後期への改善点	

大阪市立関目小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>【教育 DX (デジタルトランスフォーメーション) ICT を活用した教育の推進】 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。(R7 68.2%)</p> <p>【教職員の働き方改革の推進】 教員の長時間勤務の解消を通じ、教員が児童の前で健康で生き生きと働くことができ、児童一人一人に向き合う時間を確保することができる環境の実現をめざす。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【6-1 教育 DX (デジタルトランスフォーメーション) ICT を活用した教育の推進】</p> <p>・児童が日常的に ICT を主体的に活用し、多様な情報を選択・活用しながら情報活用能力を高め、主体的な学びを通じて育成する資質・能力と円滑な学びの保障につながる取組を推進する。</p> <p>-----</p> <p>指標 ○学校アンケートにおける低学年「タブレットを使った学習は楽しいですか」と高学年「タブレットを使って調べたり、まとめたりすることができますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。(R7 データなし)</p>	
<p>取組内容②【7-1 働き方改革の推進】</p> <p>・教員の長時間勤務の解消を通じ、教員が児童の前で健康で生き生きと働くことができ、児童一人一人に向き合う時間を確保することができる環境の実現をめざす。</p> <p>-----</p> <p>指標 ○教員の時間外勤務時間について、月80時間以上実施する教員をゼロにする。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

後期への改善点

